

課程のなかに社会的有用労働を導入し、
高学年では、学校外に学校と工場企業の
協力で設立されている教育・生産コンビ
ナートのなかで実施する方式を採用して
いる。 佐々木 亨

そうこうぎじゅつきょういく 総合技術 教育

ロシア語で politekhnicheskoe obrazovanie
あるいは politekhnizm (ポリテフニズム)とも
いう。教育と生産労働の結合を通して人
間の全面的発達をめざす教育思想で、科
学的社会主義の教育思想の重要な構成部
分となっている。この思想の萌芽は、
<農夫のように働き哲学者のように思索
する>人間を理想とした J. J. ルソーの《エ
ミール》(1762)や、工場労働と教育の結合
を試みた R. オーエンなどにもみられたが、
マルクスは、機械制大工業の発展の本性
が人間の全面的発達を不可避とするとと
らえ、今後の教育は知育、徳育、体育、
総合技術教育で構成されねばならないと
した。この総合技術教育の思想は、レー
ニン、*N. K. クループスカヤによって
詳細に研究され、今日ではソ連をはじめ
とする社会主義国で実際化されている。
現代の総合技術教育は、社会主義生産の
科学的原理を学ばせ、労働用具や機械を
扱う習慣を習得させ、現代の技術と技術
学に通暁する能力を形成させることを目
的とする。またこれは、普通教育とかた
く結びつき、若者たちに将来の職業につ
く準備を与え、彼らを積極的な生産者に
育てあげ、教育と生産労働との結びつき
を促進し、人間を全面的に発達させるこ
とを目的とするとされる。クループスカ
ヤは、総合技術教育は、なにか特別の教
科ではなく、全学科に浸透し、物理や化
学などの自然科学や社会科学の教材の選
択に反映するものでなくてはならず、こ
れらの学科の相互結合が必要であり、そ
れらの学科と実践的な活動との結合、と
りわけ学科と労働の教授・学習との結合
が重要で、このような結合のみが労働の
教授に総合技術的性格を付与する、と強
調した。しかし、労働と教授の結合につ
いてはいくたの試行が重ねられ、現代ソ
連の国民教育では、低・中学年では教育